



# 麻しん（はしか）拡大中 予防接種歴の確認を！

平成 30 年 5 月 16 日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

## 感染症発生動向速報

(平成 30 年第 19 週分・5 月 7 日～5 月 13 日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●麻しん（はしか）

3 月 23 日に沖縄県で海外からの旅行者が麻しん患者として確認されて以降、沖縄県を中心に患者報告数が急増しており注意が必要です。本年では、これまでに 125 人の報告があります（図参照）。

麻しんウイルスは、感染力が非常に強く、おもに空気を介して感染します。麻しんウイルスに感染すると、約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。

口腔内に、コプリック斑という特徴的な白い斑点が現れる場合があります。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。風邪症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日程の期間は、他人にうつす可能性があります。

麻しんは、**予防接種をすることで高い予防効果を得ることができる疾患です**。今まで麻しんにかかったことが確実である場合は、予防接種を受ける必要はありません。平成 2 年 4 月 2 日以降生まれの方は、麻しんの予防接種を 2 回受ける機会がありますが、感染の可能性は低いと考えられますが、2 回接種が済んでいるかご確認ください。平成 2 年 4 月 1 日以前生まれの方は、幼児期に 1 回予防接種を受けてから相当の年月が経過していますので、十分な免疫がない可能性があります。医療機関にご相談の上、ワクチン接種をお勧めします。

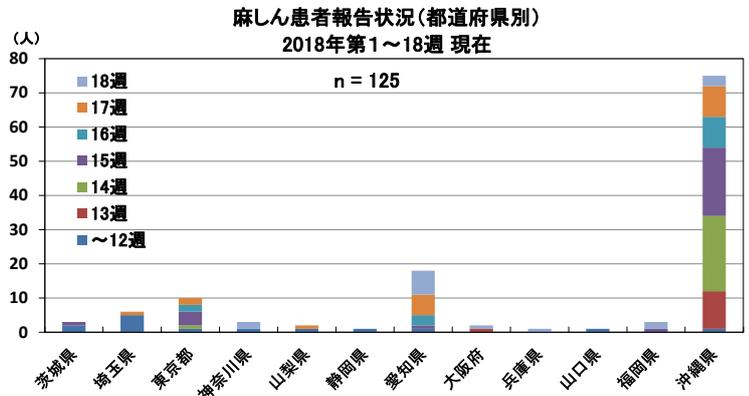
麻しんを疑う症状があり、医療機関を受診する場合は、あらかじめ電話で麻しんの可能性があることを伝え、医療機関の指示に従って受診してください。

### 《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 2 件（①60 歳代、男性 ②80 歳代、女性）
- 四類感染症 レジオネラ症 2 件（①②ともに 60 歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件（80 歳代、男性）
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件（第 18 週診断分：80 歳代、女性、G 群）
- 水痘（入院例） 1 件（70 歳代、男性）

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	6.45	4.07	↑
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.17	1.07	↑
3 位	咽頭結膜熱	0.97	0.48	↑
4 位	水痘	0.93	0.17	↑
5 位	突発性発しん	0.55	0.24	↑
6 位	急性出血性結膜炎	0.43	0.00	↑



○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第19週 平成30年5月7日～平成30年5月13日）

分類	疾患	今週報告分（第19週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核			1		1	2	3	6	25	7	32	73
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症				1	1	2	1		2	1	15	19
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					1	1			1		5	6
	急性脳炎							1					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		4	2	3	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	2	3	11	20
	水痘（入院例）	1					1	1				1	2
	梅毒											5	5
	播種性クリプトコックス症											2	2
	百日咳											1	1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	2 0.29		6 0.46	6 0.86	6 0.38	20 0.42	2,208	1,824	3,473	2,432	5,328
RSウイルス感染症						5 0.50	5 0.17	31	20	42	21	168	282
咽頭結膜熱		4 1.00		13 1.63		11 1.10	28 0.97	113	43	148	12	192	508
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4 1.00	8 2.67	15 1.88	9 2.25	27 2.70	63 2.17	75	61	311	125	389	961
感染性胃腸炎		30 7.50	12 4.00	27 3.38	9 2.25	109 10.90	187 6.45	524	330	573	107	1,305	2,839
水痘		1 0.25		9 1.13	6 1.50	11 1.10	27 0.93	7	3	58	43	63	174
手足口病								1	8	19	10	76	114
伝染性紅斑				1 0.13	2 0.50		3 0.10	3	1	38	21	9	72
突発性発しん		1 0.25	1 0.33	4 0.50	5 1.25	5 0.50	16 0.55	26	19	79	24	54	202
ヘルパンギーナ								1		1	1		3
流行性耳下腺炎					1 0.25	2 0.20	3 0.10	1	5	7	1	11	25
急性出血性結膜炎					3 3.00		3 0.43				8		8
流行性角結膜炎								1	11	3	1	2	18
細菌性髄膜炎												3	3
マイコプラズマ肺炎									1	4	3	7	15
感染性胃腸炎（ロタウイルス）					1 1.00		1 0.20	3		2	2	6	13
インフルエンザによる入院患者（*）					1		1	51	55	39	149	93	387

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

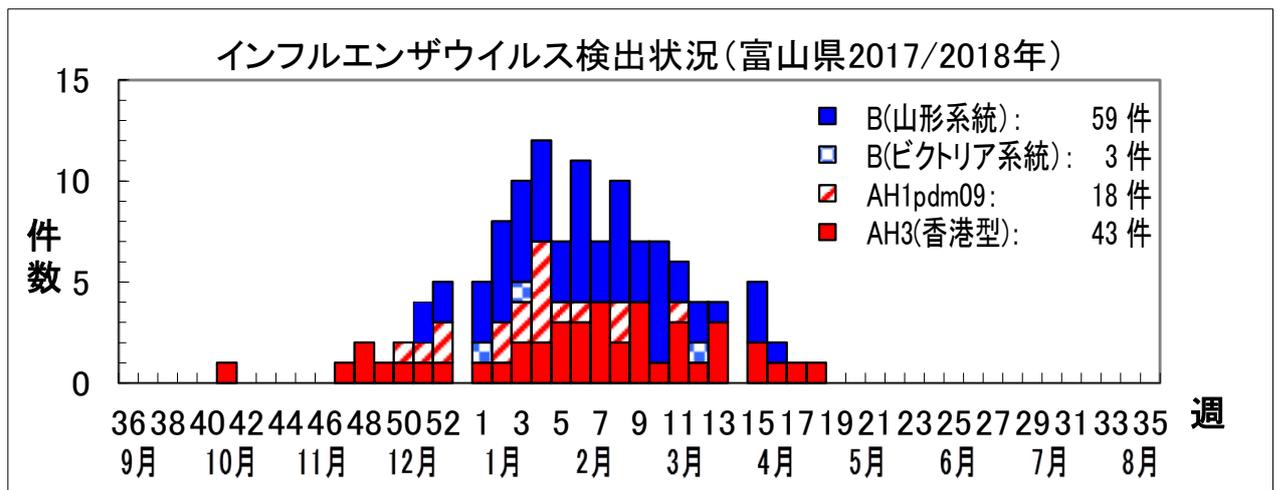
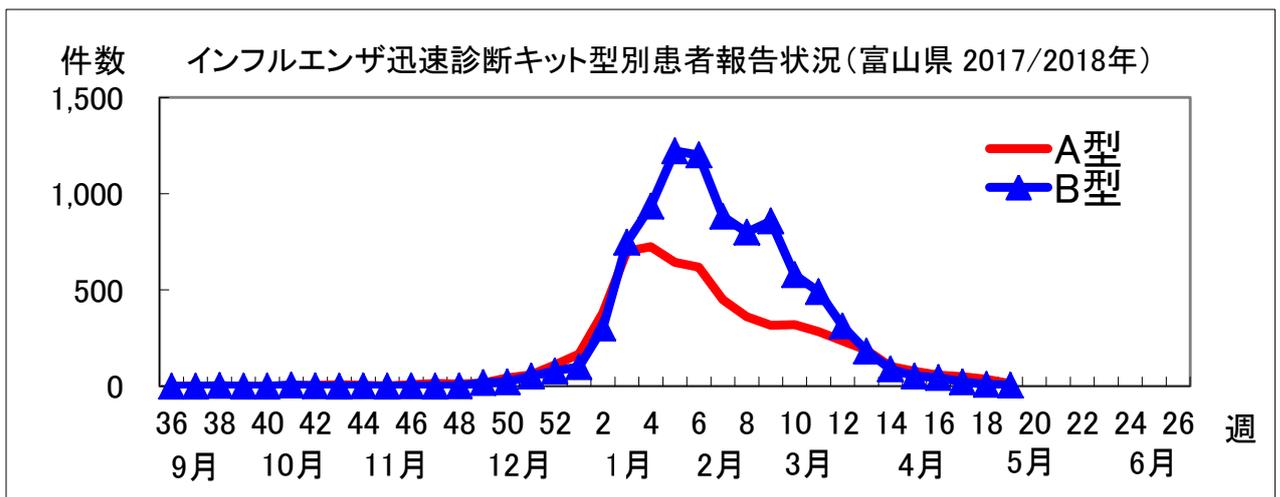
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が65.0%、B型が30.0%となっています。

### 第19週(5/7~5/13)：富山県 0.42人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	2 / 7	0	2	0	2
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	4 / 13	5	1	0	6
砺波	5 / 7	4	2	0	6
富山市	3 / 16	4	1	1	6
富山県	14 / 48 <sup>※1</sup>	13	6	1	20
富山県累計(2017年36週~)		6,018	9,026	716	15,760

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が14か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



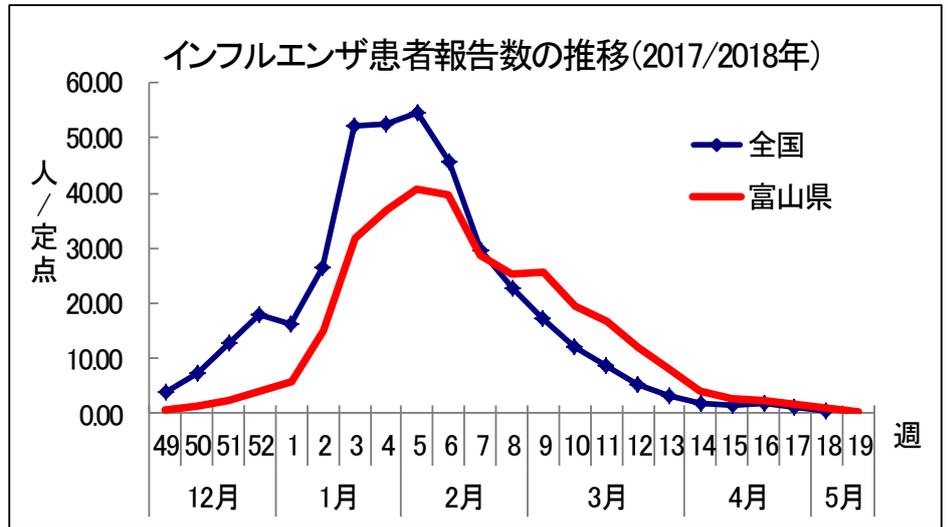


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第19週 (5/7~5/13) : 富山県 0.42 人/定点

新川 HC (0.29)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.46)、砺波 HC (0.86)、富山市 HC (0.38)

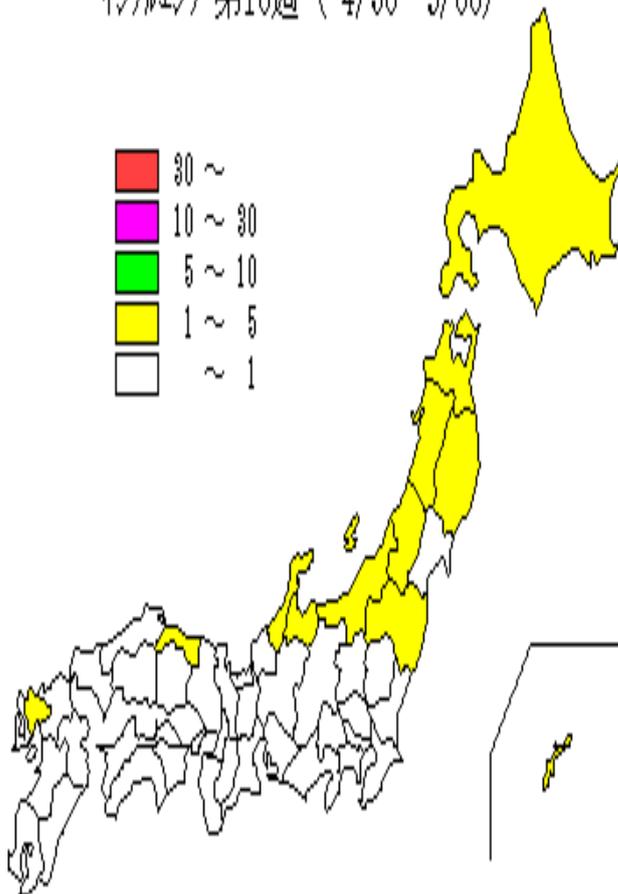
インフルエンザの流行は全国・県内とも終息に向かっていると思われま



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第18週 (4/30~5/6)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 0.61 人となり、前週の 1.23 人より減少しました。1 県で前週より増加しています。46 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第18週 (4/30- 5/06)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.66	滋賀県	0.52
青森県	2.42	京都府	0.23
岩手県	4.32	大阪府	0.16
宮城県	0.82	兵庫県	0.34
秋田県	3.72	奈良県	0.11
山形県	1.33	和歌山県	0.02
福島県	1.78	鳥取県	1.17
茨城県	0.18	島根県	0.42
栃木県	0.11	岡山県	0.18
群馬県	0.35	広島県	0.36
埼玉県	0.34	山口県	0.48
千葉県	0.20	徳島県	0.41
東京都	0.24	香川県	0.62
神奈川県	0.21	愛媛県	0.90
新潟県	1.23	高知県	0.10
富山県	1.08	福岡県	0.63
石川県	1.48	佐賀県	1.16
福井県	0.80	長崎県	0.34
山梨県	0.27	熊本県	0.75
長野県	0.74	大分県	0.38
岐阜県	0.54	宮崎県	0.71
静岡県	0.20	鹿児島県	0.21
愛知県	0.28	沖縄県	2.25
三重県	0.24	全国	0.61

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年4月分）

		4月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			1		9	10		1	5		31	37
				0.33		2.25	1.00						
	性器ヘルペスウイルス感染症			1		3	4		2	2		6	10
				0.33		0.75	0.40						
尖圭コンジローマ					2	1	3				5	6	11
					2.00	0.25	0.30						
淋菌感染症						3	3			1		7	8
						0.75	0.30						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	1		7	11	7	6	7	10	17	47
		1.00	2.00	1.00		7.00	2.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			5		3	8	2		9	2	4	17
			5.00		3.00	1.60							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。